

PLI-1186-2

PIAA MLSE1

取扱説明書

工数：1.5h

この度はPIAA 製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

※この本文中の**△注意**マークと**△警告**マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

お客様へお願い ……この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。
この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡してください。

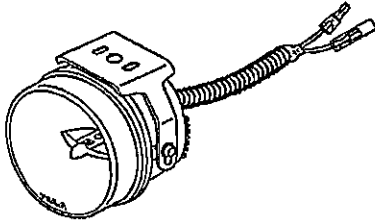
取付店様へお願い ……この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡してください。

●本製品はYAMAHA セロー 250 (DG17J) 専用です。該当車以外には使用できません。

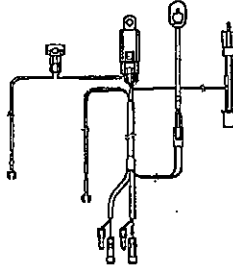
内容品

※ 梱包品が全部揃っている事を確認してください。
足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

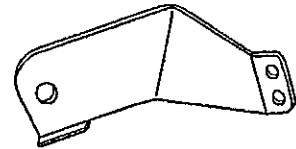
① LED ランプ 【2 セット】



② リレーハーネス 【1 セット】



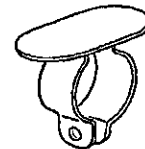
③ ブラケット (R) 【1 個】



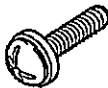
④ ブラケット (L) 【1 個】



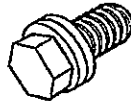
⑤ 両面テープ 【1 枚】

⑥ スイッチ
ブラケット 【1 個】

⑦ スクリュー 【1 本】



⑧ 六角ボルト 【2 本】



⑨ ワッシャー 【2 個】



⑩ 六角ナット 【2 個】



⑪ タイラップ 【10 本】



⑫ ストーンガード 【2 個】

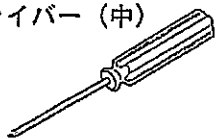


PLI-1186-2

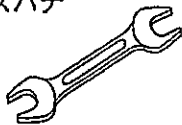
使用工具

以下の工具を用意してください。

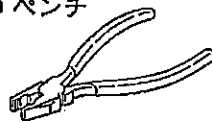
- ⊕ ドライバー (中)



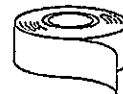
- スパナ



- ペンチ



- ビニールテープ

**使用上のご注意**

／安全にお使い頂く為に必ずお読みください。

警告

- 点灯中及び消灯直後のランプは大変高温になっていますので、手を触れないでください。火傷を負う恐れがあります。又、点灯中及び消灯直後には、洗車等で故意に冷水をかけないでください。レンズ割れ等、機能を損なう恐れがあります。
- 点灯中のランプは大変高温になりますので、枯れ草や可燃物の側で駐停車した時は点灯しないでください。火災の原因となる事があります。
- 点灯中のランプを間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となる事があります。

注意

- このランプは雨、雪等の降る夜間時、夕暮れ時、霧の出ている時等の視界が悪い場合に使用してください。不必要な点灯はしないでください。
- スイッチの操作は、走行中に絶対行なわないでください。
- エンジンがかかっていない時点灯させておくとバッテリーが上がり、エンジンがかからなくなる事がありますので、ご注意ください。
- ランプの取り付け部は、走行前に点検し、異常を発見した場合は取り付け直してください。
- ランプ取り付けスクルー類は、走行前にゆるみの有無を確認し、増し締めしてください。又、ブラケットの取り付けボルトも確認してください。走行中ブレが発生した場合は、直ちにランプ及びブラケット等の取り付け部を点検、増し締めしてください。
- 車体によっては、エンジン始動時に高電圧が発生します。ランプ及び、ハーネス保護の為、始動直後の点灯及び、点灯状態でのエンジン始動は避けてください。
- 故障の原因となりますので、ランプ及びハーネスを分解しないでください。
- ランプ及び、ハーネスを外して保管する場合は、汚れを拭き取り、水気のない所に保管してください。
- ランプにレンズ割れその他破損が認められた時は、ランプの交換をしてください。又、コード被覆の損傷等異常が認められた場合は、ハーネスを交換してください。
- 破損したレンズ及び、ハーネス等の取り扱いはケガをしないよう充分留意し、不燃物として廃棄してください。
- オフロードを走行する場合は取り外してください。

PLI-1186-2

取り付け上のご注意 /必ずお読みください。**△注意**

- このランプは、**PIAA** のロゴが正立するように、ブラケットを組みご使用ください。
- ランプ機能を最大限に発揮させる為、必ず**PIAA** 製専用ハーネスをご使用ください。
- 作業は、平らな場所で十分なスペースと安全を確保して行なってください。又、車両は、ギアをニュートラルにし、エンジンを停止させておいてください。
- 作業は、エンジンが充分冷えてから行なってください。
特にエンジン本体、マフラー、オイルクーラー等、高温部が熱い内には作業しないでください。
- ランプ本体及び、ランプハーネスのお取り扱いには充分ご注意ください。
落としたり、物を当てたりして衝撃が加わるとレンズ及び、ランプハーネスの損傷につながります。
- ランプボディ等には穴あけ加工はしないでください。又、ランプ各部に接着剤やシール剤等を塗布しないでください。
- ランプハーネスの改造はしないでください。過熱やショートの原因となる他、最悪は車両火災の恐れがあります。
改造による不具合については一切責任を負いかねます。
- バッテリー端子の脱着の際は、⊕端子と⊖端子に同時に触れないでください。感電の恐れがあります。
ゴム手袋等を着用し防護処置をしてください。
- バッテリーの⊕端子と⊖端子に、金属が同時に触れないよう充分ご注意ください。ショートを起こすと大変危険です。
- ボルト類は確実に締め付け、試験走行を行ない、ゆるみが出た場合は、増し締めを行なってください。
- ランプ取り付け後、ランプの照射光線の調整をしてください。(P10の光軸調整方法をご参照ください。)
- 取り付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類やホーン等が正常に作動するか確認してください。
- バッテリー端子を取り外すと、純正用品のメモリーが消えますので、作業終了後元通り直してください。
(修正方法は車両の取扱説明書等をご参照ください。)

配線上のご注意 /必ずお読みください。**△警告**

- 配線の際は、下記注意事項を厳守してください。誤った配線や不確実な配線は、ランプの機能を損なう他、最悪は車両火災を起こす恐れがあります。

△注意

- 必ずバッテリー⊕端子及び⊖端子を外してから作業してください。
バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。
- バッテリー端子を脱着する場合は、必ず車両のキーをOFFにして抜き、電装品のスイッチをOFFにしておいてください。
- バッテリー端子脱着の際、他の電装品コードを接続している場合は、⊕と⊖を間違わないようビニールテープ等で束ねて区別しておいてください。
- ⊕電源コード(白線)と⊖アースコード(黒線)は色をご確認の上、確実に接続してください。
- ⊕電源はオルタネーター(発電機)からとらないでください。
- リレーボックス及び、ヒューズボックスは、直接水のかかる部分には設置しないでください。
- エンジン等の高温部に、ハーネスが触れないよう配線してください。
- ハーネスは可動部等に噛み込まれないように配線してください。
- ブレーキ配管等の高圧配管にはリレーハーネスを固定しないでください。
- ハーネスがエッジ部に当たる時は、市販のクッションテープ等でハーネスを保護してください。
- コネクター及び、ギボシ端子を接続する場合は、カチッと音がするまで確実に差し込み、固定してください。
- コネクター及び、ギボシ端子を抜く場合は、コネクター本体及び、ギボシ端子本体を持って抜いてください。
コードを引っ張ると、接続部が損傷し、過熱等が発生して危険です。
- リレーハーネスはたるまないよう、タイラップ又はビニールテープで束ねて車体配線等に固定してください。
- バッテリーを接続する前に再度配線の確認を行なってください。
- バッテリー端子及び電装品コード接続の際は、⊕と⊖を絶対に間違わないよう充分にご確認の上、必ず⊕端子から取り付けてください。
- 配線完了後、作動を確認してください。点灯しない場合は、後述の【【3】こんな時には……】をお読みください。

PLI-1186-2

[1] LED ランプ取付概略図

本概略図は取り付け作業の手順を要約して説明したものです。各作業の詳細につきましては、各項目に案内されているページをご参照ください。

2 バッテリー ⊕ 端子を取り外してください。
(P6. [2] - (6) をご参照ください。)

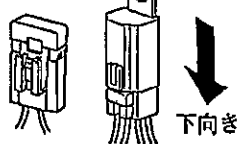
1 バッテリー ⊖ 端子を取り外してください。
(P6. [2] - (6) をご参照ください。)

7 ⊕ 電源コード (白線) をバッテリー ⊕ 端子と共締めで、バッテリーに接続してください。
(P10. [2] - (19) をご参照ください。)

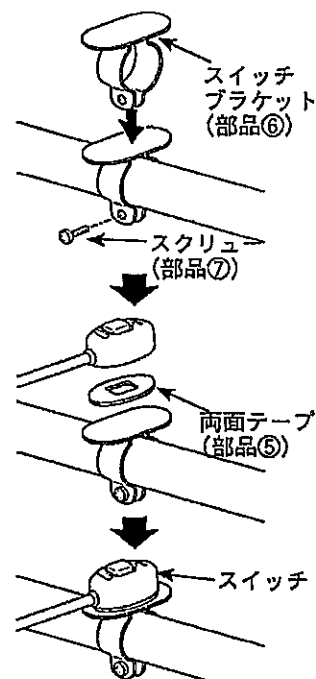
8 ⊖ コード (黒線) をバッテリー ⊖ 端子に共締めしてください。
(P10. [2] - (19) をご参照ください。)

3 車体側のフラッシャーリレーのコネクターを外して割込ませて接続してください。
(P6. [2] - (7) をご参照ください。)

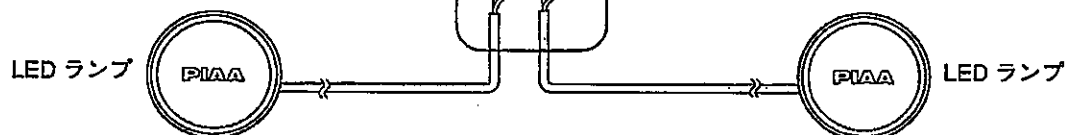
4 ハーネスが必ず下側に向くように固定してください。
(P7. [2] - (9) をご参照ください。)



6 車両にスイッチブラケット (部品⑥) を取り付け、スイッチを両面テープ (部品⑤) にて取り付けてください。
(P9. [2] - (14) (15) をご参照ください。)



5 リレーハーネスと LED ランプのギボシ端子を、それぞれ接続してください。
(P8. [2] - (11), (12) をご参照ください。)

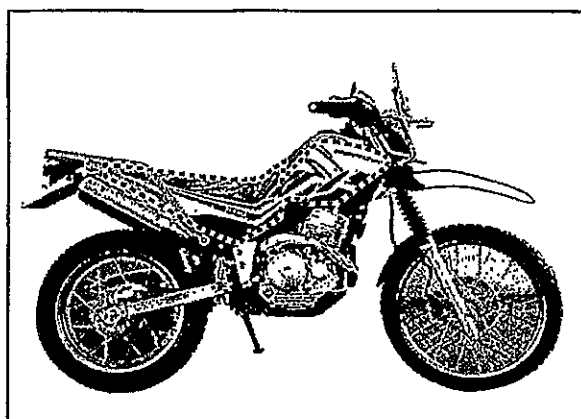


9 タイラップ
ハーネス

ランプ取り付け完了後、リレーハーネス各部がエンジン可動部や、高熱となる部分に触れないよう、添付品のタイラップ (部品①) で固定してください。
(P10. [2] - (21) をご参照ください。)

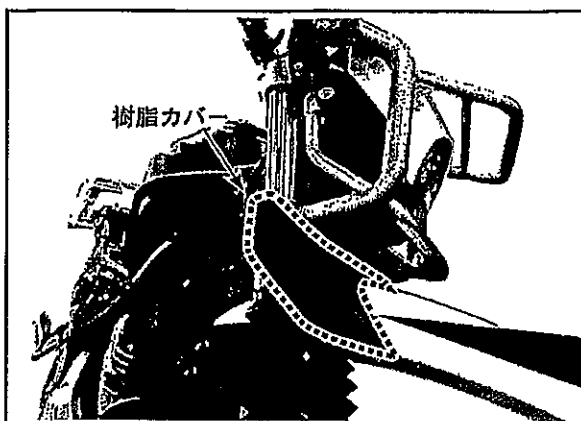
PLI-1186-2

【2】LED ランプの取り付け

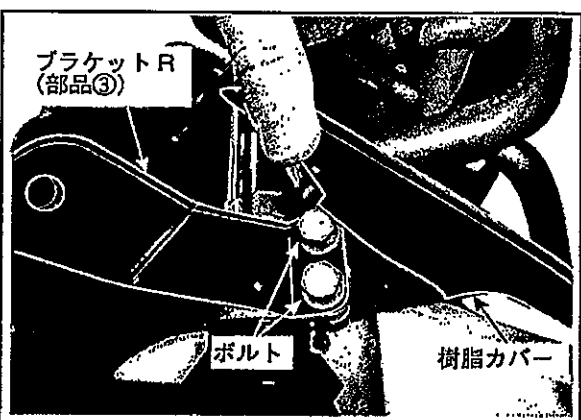
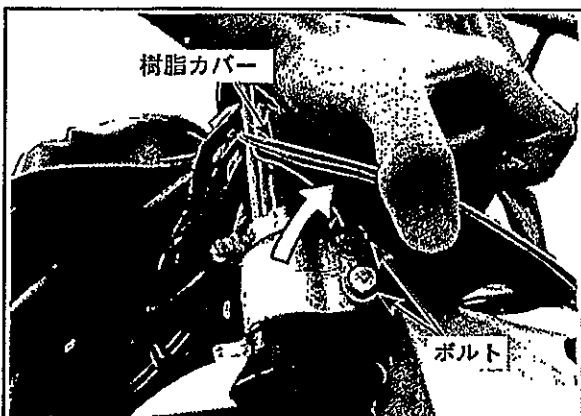


- (1) 車体の点線部のシート及び、外装を取り外してください。

※取り外し方は、サービスマニュアルをご参照ください。

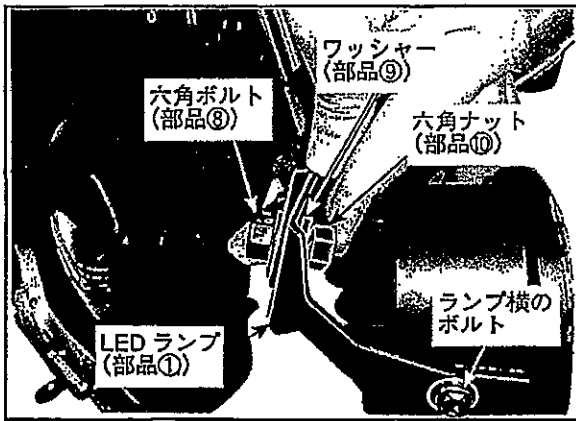


- (2) 車体の点線部の樹脂カバーのツメを外して樹脂カバーをめくり、ボルトを2本取り外してください。



- (3) 樹脂カバーをめくって、(2) で取り外したボルトを使用して、ブラケットR (部品③)を取り付けてください。

PLI-1186-2



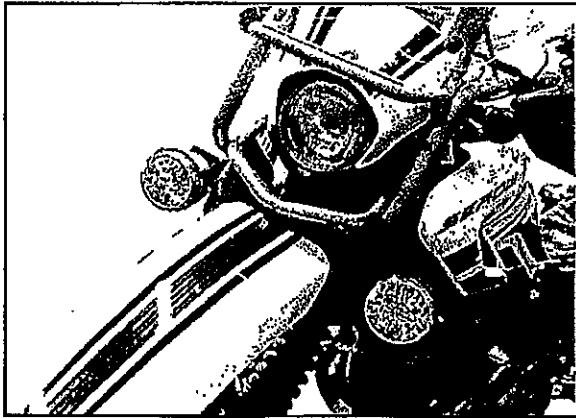
- (4) LED ランプ横のボルトを緩めて、ブラケット R (部品③) に、LED ランプ (部品①) を六角ボルト (部品⑧)、ワッシャー (部品⑨) 及び、六角ナット (部品⑩) にて仮取り付けしてください。

△注意

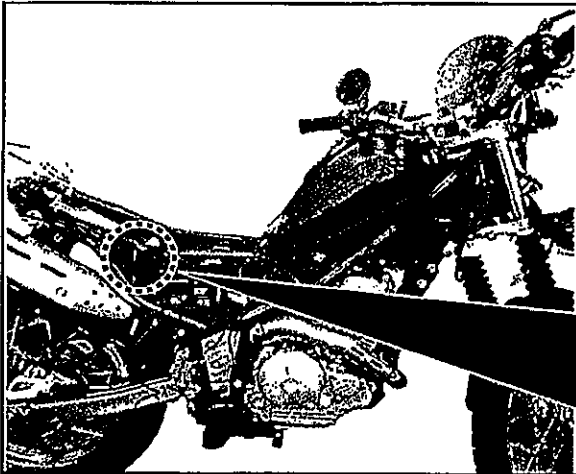
ランプを取り付け状態にした時、PIAA のロゴが逆さまにならないよう、ご注意ください。



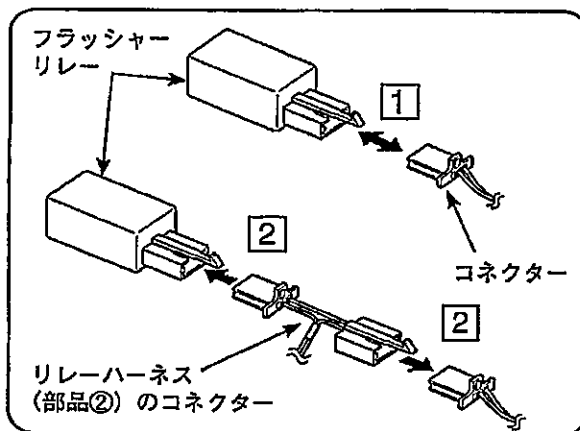
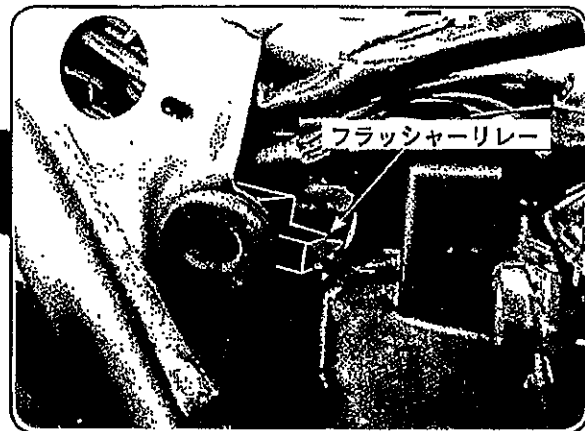
- (5) 反対側も同様にブラケット L (部品④)、六角ボルト (部品⑧)、ワッシャー (部品⑨) 及び、六角ナット (部品⑩) を使用して LED ランプ (部品①) を仮取り付けしてください。



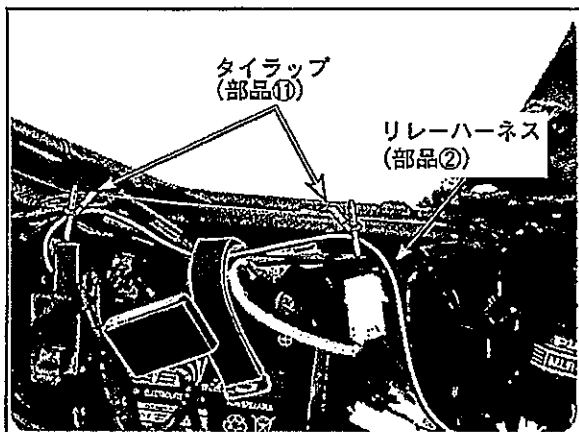
- (6) バッテリー端子の⊕⊖を外してください。



- (7) ① 車体側のフラッシャーリレーからコネクターを取り外してください。
② リレーハーネス (部品②) のコネクターを割りませて接続してください。



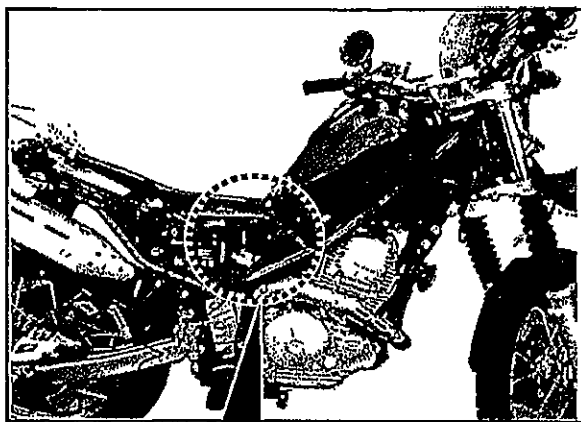
PLI-1186-2



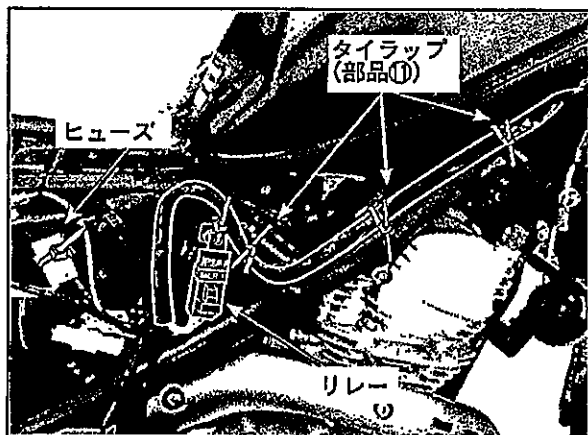
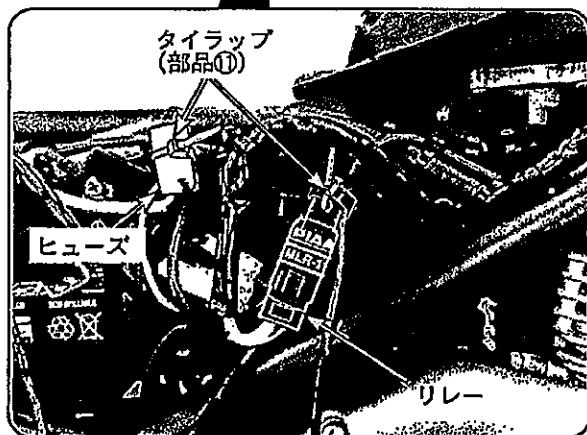
- (8) リレーハーネスを車体フレームの写真の位置にタイラップ (部品①) にて仮固定してください。

△注意

- リレーハーネスは、この後の作業で位置を微調整する場合がありますので、本作業ではタイラップを強く締めないでください。



- (9) リレーハーネス (部品②) のリレー及び、ヒューズを写真の位置にタイラップ (部品①) にて固定してください。

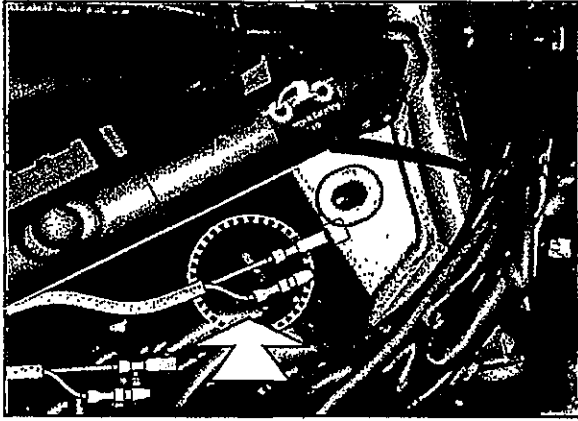


- (10) リレーハーネス (部品②) のハーネス部を写真の位置で車体フレームにタイラップ (部品①) にて仮固定してください。

△注意

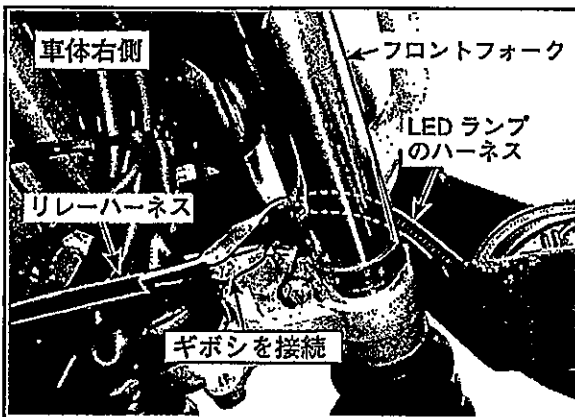
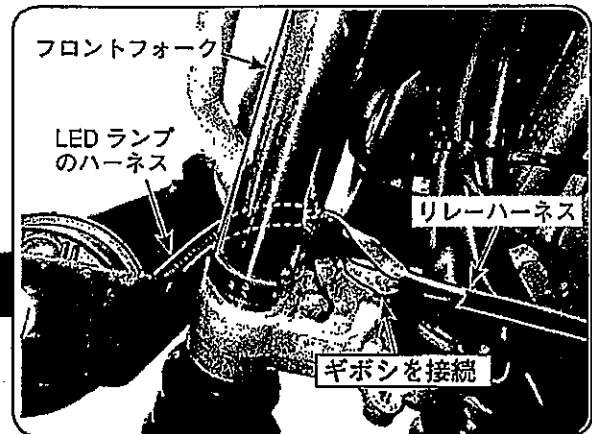
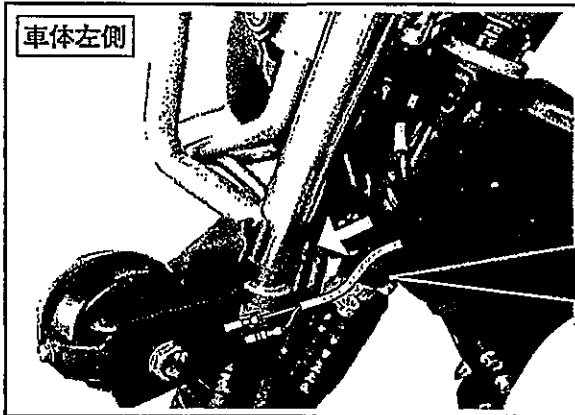
- リレーハーネスは、この後の作業で位置を微調整する場合がありますので、本作業ではタイラップを強く締めないでください。

PLI-1186-2

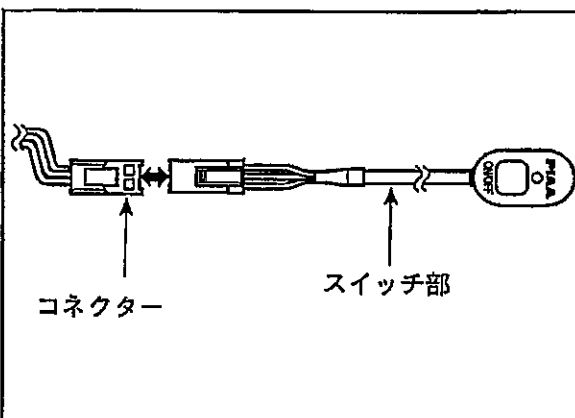


(11) ギボシ端子のついた長い方のハーネスを写真の位置から車体の逆側へ通し、フロントフォークの前側でLEDランプ(部品①)のギボシ端子と接続してください。

ギボシ端子の接続部は樹脂カバーの中に収めてください。

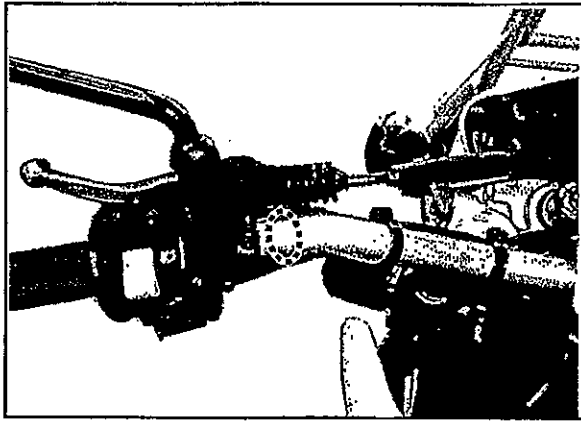


(12) ギボシ端子のついた短い方のハーネスを、フロントフォークの前側を通してLEDランプ(部品①)のギボシ端子と接続してください。ギボシ端子の接続部は樹脂カバーの中に収めてください。

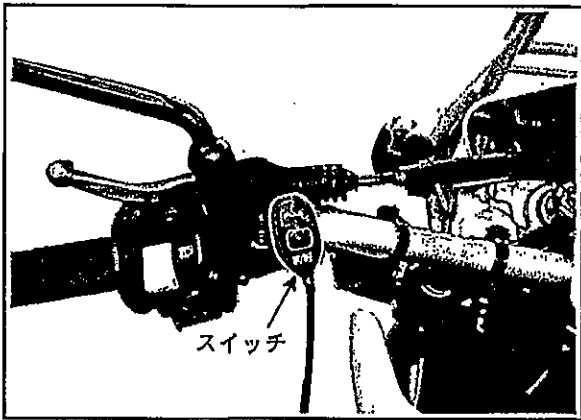
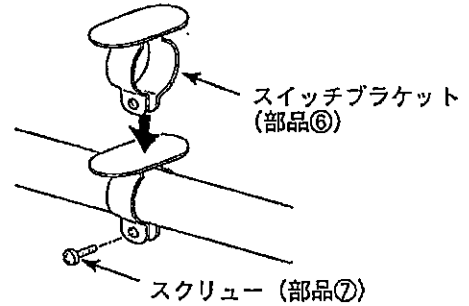


(13) リレーハーネスのスイッチ部のコネクタを取り外してください。

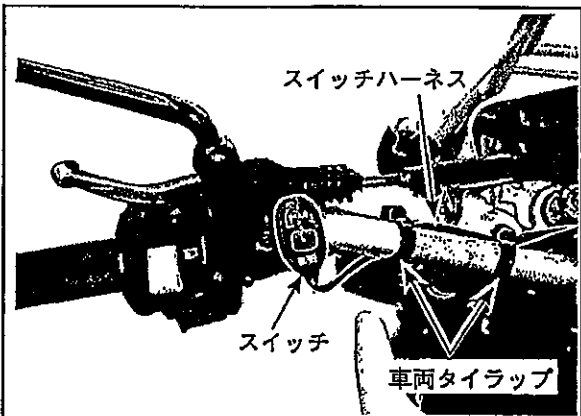
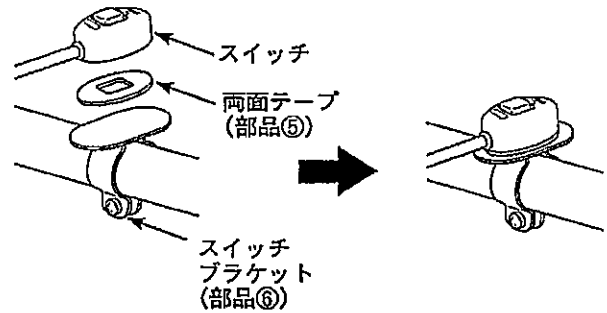
PLI-1186-2



- (14) スイッチブラケット (部品⑥) をスクリュー (部品⑦) にて、ハンドル左側の写真の点線の位置に取り付けてください。



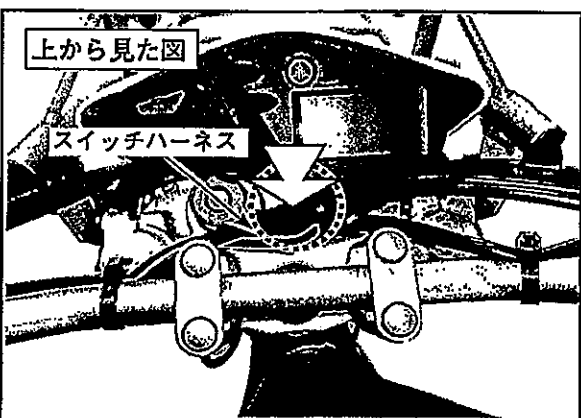
- (15) (13) で取り外したリレーハーネスのスイッチを、スイッチブラケット (部品⑥) に、両面テープ (部品⑤) にて取り付けてください。



- (16) ハンドルの車両ハーネスを固定している車両タイラップを外して、スイッチハーネスを車両ハーネスに沿わせて、外したタイラップで共締めしてください。

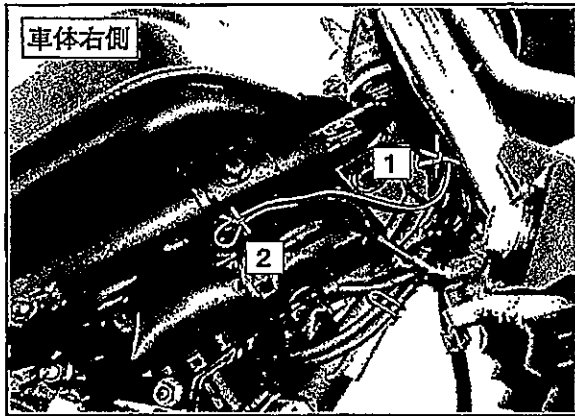
△注意

- ハンドルを左右に切った際に、ハーネスが突っ張ったり、車体と干渉しないように取り付けてください。

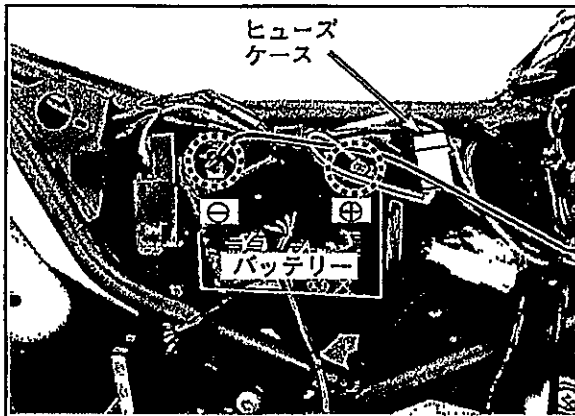


- (17) スイッチハーネスを車両ハーネスに沿って写真の位置の隙間から下方向へ通してください。

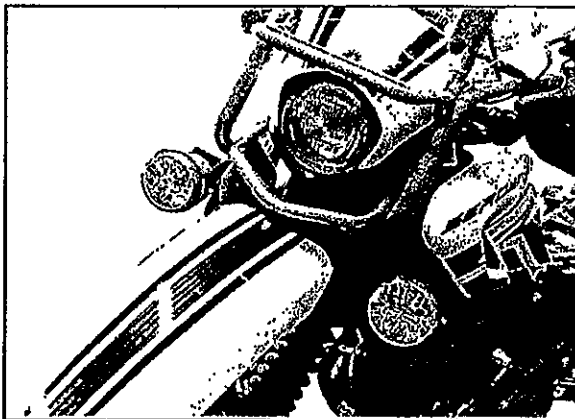
PLI-1186-2



- (18) 上から通してきたスイッチハーネスのコネクターをリレーハーネス (部品②) と接続して、写真の [1] の位置で車体ハーネスと一緒にタイラップ (部品①) で仮固定し、[2] の位置で余ったハーネスをタイラップ (部品①) で束ねてください。



- (19) リレーハーネス (部品②) の ⊕ 電源コード (白) をバッテリーの ⊕ 側に接続してください。
リレーハーネス (部品②) の ⊖ 電源コード (黒) をバッテリーの ⊖ 側に接続してください。



- (20) 点灯確認を行なってください。

- (21) 仮固定していた各場所のタイラップを本締めしてください。

- (22) 取り外した各パーツを戻して、光軸調整を行なってください。

※ パーツを戻す際は、ハーネス類が下側にたるんでいない事をご確認ください。
又、ハーネス類がフロントフォーク等に絡まない事をご確認ください。

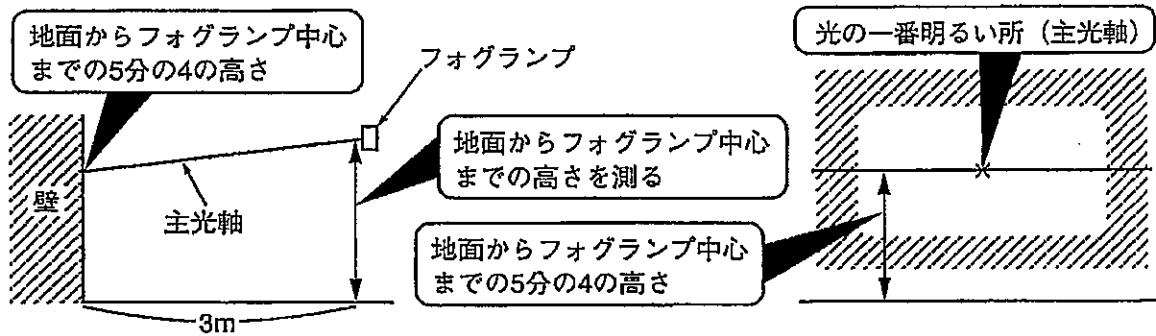
△注意

- 荷物積載時及び2名乗車時には光軸が上向きにずれ、対向車の迷惑になる場合がありますので、光軸調整を行なってください。
- 点灯させるとランプが熱くなりますので、火傷をしないよう充分ご注意ください。

PLI-1186-2

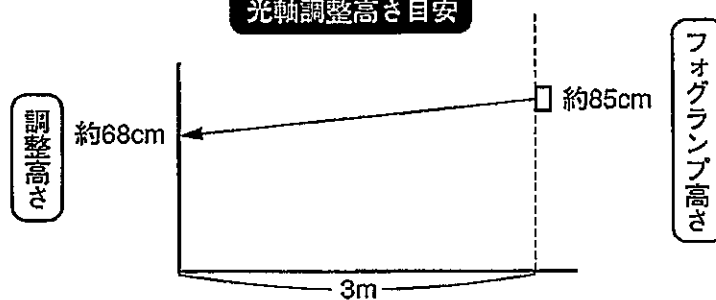
光軸調整方法

- 平らで傾斜のない場所を選び、3m 前方の壁に向かってランプを点灯させ、光の一番明るい所（主光軸）を、地面からランプ中心までの高さの5分の4の高さに合わせてください。



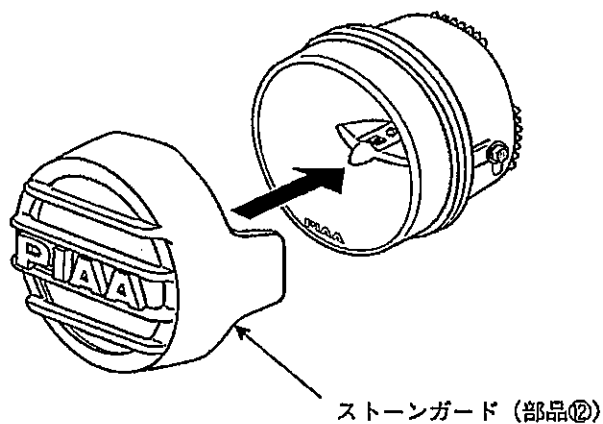
YAMAHAセロー250の場合はランプの高さが約85cmですので、主光軸の高さは約68cmを目安に位置を調整してください。

光軸調整高さ目安



調整後、各ボルト及び、各ナットを確実に締め付けて固定してください。
以上で取り付け完了です。

(23) ストーンガード (部品②) は必要に応じて取り付けてください。



[3] こんな時には……

下記に従って、各部を点検してください。

1 取り付け後、点灯しない時

→ つなぎ忘れや接続が不確実な所がないか配線を確認してください。

●スイッチのイルミネーションが点灯しない場合

→ スwitchのコネクターの接続を確認してください。接続が誤っているとスイッチは作動しません。

→ スwitchのコネクターを接続した配線の車体側ヒューズを確認してください。
切れている場合は、ヒューズを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検して下さい。

切れている場合は、「**③** ヒューズが切れた時」に従って原因を取り除いてください。

→ スwitch本体が故障の場合でも同様の症状が現われます。この場合はスイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がしない場合

→ スwitch本体が故障の場合、同様の症状が現われます。

この場合はスイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がする場合

→ ランプを点検してください。切れている場合は交換してください。

2 突然点灯しなくなったら…

→ ランプを左右入れ替えてください。症状が入れ替わらない場合、リレーハーネスに不具合がありますので点検してください。症状が入れ替わって点灯しない場合はランプをリレーハーネスから取り外してランプハーネスの⊕⊖を12V電源に直接繋げて点灯確認をしてください。点灯しない場合はランプを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検してください。切れている場合は、「**③** ヒューズが切れた時」に従って原因を取り除いてください。

→ 車体側のヒューズを確認してください。切れている場合は、原因を取り除いてください。

→ 各部の端子の接続が不確実になっている場合があります。
端子が浮いていないか、汚れが付着していないか等を点検してください。→ 水入りや、不確実な接続による不安定な電流によりリレーが破損している場合があります。
リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スwitchを点検してください。ボタン作動に異常が見られる場合は交換してください。

3 ヒューズが切れた時

→ ショートが発生している可能性があります。ランプハーネス、リレーハーネスの配線を点検し、損傷部を交換してください。交換しないままの使用は大変危険です。ショート発生の原因の多くは配線の噛込み、ランプハーネスのスリーブのずれです。

4 つきっぱなしになってしまったら→ 水入りや、不確実な接続により、リレーが損傷しています。
リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スwitchのボタン作動を確認してください。異常が見られる場合は、スイッチを交換してください。

PIAA株式会社

お客様相談窓口

<http://www.piaa.co.jp>**0570-050-555**受付時間 10:00~12:00/13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)